樹林地管理団体活動助成事業の対象メニューを拡充

伐木・刈払機等講習に掛かる費用を助成金メニューの対象とします !!

森づくり団体の皆様が森づくり活動でチェーンソーや刈払機を使用される場合は、作業する方に民間の教習所で実施している特別教育、安全衛生教育の受講をお願いしていますが、受講に当たって、費用がかかるため団体の皆様には負担となっていました。

そこで、令和 6 年度より、伐木等特別教育、刈払機取扱作業者安全衛生教育に掛かる経費を助成金の対象メニューとして新たに追加します。

これを機会に団体の皆様は安全に関する知識や技術の見直しを図っていただけますと幸いです。

【参考例】

チェーンソーによる伐木等特別教育

3 日間（18 時間）	科　目
学科 9 時間	伐木等作業に関する知識、チェーンソーに関する知識、振動障害及びその予防に関する知識など
実技 9 時間	伐木等の方法、チェーンソーの操作、チェーンソーの点検及び整備

費用：15,000 ～25,000 円程度

刈払機取扱作業者安全衛生教育

1日間（6時間）	科　目
学科 5 時間	刈払機に関する知識、刈払機を使用する作業に関する知識、刈払機の点検及び整備に関する知識、振動障害及びその予防に関する知識など
実技 1 時間	刈払機の作業等

費用：10,000 円程度

【樹林地管理団体活動助成事業の概要】

①当該活動について他の助成金を受けていないことが条件になります。
②助成率は対象事業費の **10 分の 8** です。
③1団体あたり助成上限金額は **10 万円**です。

【助成の対象団体】

- 森づくり活動団体
- 市民の森愛護会
- ふれあいの樹林愛護会

【利用条件】下記のいずれかに該当する活動

- 動植物の積極的な保護・復元
- 生物調査の実施
- 森づくりに関する技術研修
- 救命救急講習など作業中の安全管理に関する研修
- 団体活動の地域に向けた広報
- 自然観察会、園内ガイドツアー等の実施
- 講演会等の実施
- 樹林地の利活用体験事業の実施

*令和 6 年度の募集は4月末頃のご案内をお待ちください。

【支援メニュー例（実績等）】

- 技術研修の会場使用料、講師謝金
- 活動広報冊子のデザイン代と印刷代
- 地域に向けたイベントチラシの印刷代
- イベント開催に必要な消耗品

今回追加

★伐木等特別教育、刈払機取扱作業者安全衛生教育の受講費用

お問合先
申請書提出先
横浜市環境創造局 環境活動支援センター
住所 〒240-0025 横浜市保土ケ谷区狩場町213
電　話 045-711-0635・FAX 045-721-6356

よこはまの森
ニュースレター No.120
よこはまの森 ニュースレター HP
横浜みどりアップ計画

横浜市環境創造局みどりアップ推進課
〒231-0005 横浜市中区本町 6-50-10 TEL 045-671-2624 FAX 045-224-6627

森づくりを担う人材の育成事業の財源の一部に横浜みどり税を活用しています。

綱島市民の森 森づくり体験会（初級編）実施しました！

●実施日：令和 5 年 12 月 3 日(日)
●対　象：小学生以上の児童と保護者、個人の方
●参加人数 12 名(親子 3 組、個人 4 名)

綱島市民の森は駅にも程近い住宅地の中にある広さ 6.1ha の市民の森です。

今回の体験会は親子の参加が可能な体験会として実施しました。個人の参加組と親子参加組に分かれ、森の中を、園路沿いを中心に移動しながら、活動しました。

START

外来種のセイタカアワダチソウの除草

子供達みんなで森の中の落ち葉掻きと落枝拾い
落ち葉プールにダイブ!森の活動は楽しいね!

GOAL

個人参加の方は常緑樹の除伐や地面を覆う
アズマネザサの刈取りを行いました

最後は横浜市重要文化財に指定された愛護会長の生家をご案内いただき、お昼をいただきました。いい汗をかいてご飯が美味しかったですね!

春には桃の花も咲き、美しい景色が広がるそうです。

ぜひ足を運び、森の活動に参加してみてください。

鴨居原市民の森 愛護会活動紹介

南地区の入口を入ると、わらアート亀の「かも太郎」がお出迎え

愛護会作の竹のオブジェ「天空に駆ける」

鴨居原市民の森愛護会の概要

★平成 16 年に愛護会が発足し、平成 17 年に横浜市で 26 番目の市民の森として開園
★市民の森の清掃や森の保全管理・育成のための活動、草刈り、市民参加のイベント等を実施
★平成 17 年からクリーンアップイベントを実施

クリーンアップイベントの様子

令和 5 年 11 月 4 日(土)、鴨居原市民の森の南地区にて第19回「クリーンアップ&焼き芋大会&植樹会」が実施されました。

かつては不法投棄された古タイヤや家電製品などのごみの山だった森を綺麗にしたいという思いからこの活動は始まりました。地域の有志のメンバーが集まり、森の活動がスタート。その後は「クリーンアップ」を継続し、綺麗な森が保たれてきました。

数年前からナラ枯れという主にクヌギやコナラなどのブナ科などの樹木に発生する病気が大発生し、この市民の森でも被害が発生した木を伐採せざるを得ませんでした。

そこで、森を再生させるため、愛護会のメンバーはこの森で採れたドングリからコナラなどを育ててきました。今回の「クリーンアップ」では、愛護会が育ててきたその苗木を植樹しました。

用意された苗木は約200本。地域の親子連れなど大勢の方が参加されました。

近隣の中学校からも参加者が集まり、植樹と清掃活動を実施。皆さん森での活動を楽しまれていました。

菅原愛護会長による開会のご挨拶

愛護会メンバーによる今日の作業の説明

コナラの苗木を植樹。3～4 年目の苗木をスコップで穴を掘って丁寧に植えます。

愛護会メンバーのサポートのもと、親子で植樹!

コナラの苗木

最後はクリーンアップ参加者に、近隣でお借りしている畑で育てられたサツマイモを愛護会メンバーが準備し、出来立ての焼き芋が振舞われました。

愛護会のメンバーで用意した焼き芋🍠！

焼き芋配布中。一人 2 本もらえました。

日頃の活動の様子を紹介したい、会員メンバーを募集したい!という愛護会や森づくり活動団体の方はぜひみどりアップ推進課までご相談ください!活動の内容をニュースレターで紹介します。